

平成 27 年第 8 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 27 年 8 月 27 日（木） 13 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 15 時 00 分
3. 開催場所 加西市役所 1 階多目的ホール
4. 出席者 教 育 長 高 橋 晴 彦
委 員 荒 木 貴 子
委 員 内 藤 堯 雄
委 員 多 田 久 子

5. 上記出席者及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

教育次長	小 林 剛
市参事（子育て未来政策担当）	前 田 政 則
教育総務課長	中 倉 建 男
学校教育課長	柿 本 博 司
こども未来課長	伊 藤 勝
図書館長	上 坂 寿 人
総合教育センター所長	安 富 均
生涯学習課主幹	永 井 信 弘
教育総務課総務係長	伊 藤 陽 子

6. 付議事項

議案第 49 号 加西市社会教育委員会への諮問について

議案第 50 号 加西市立図書館協議会委員の委嘱について

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議の内容

議案第 49 号 加西市社会教育委員会への諮問について

生涯学習課主幹より、加西市社会教育委員会への諮問について説明する。

社会教育法第 17 条第 1 項第 1 号ならびに第 2 号に基づき諮問したいので委員会の議決を求める。諮問先は、加西市社会教育委員会委員長。諮問事項は、第 2 期「加西市教育振興

基本計画」策定に伴う社会教育関係の施策の方向性について、①「加西市生涯学習・社会教育行政推進計画」ならびに第1期「加西市教育振興計画」における社会教育関係の検証、②施策の方向性と加西市教育振興基本計画における実践目標である。諮問理由は、今年度第2期「加西市教育振興基本計画」策定期間にあたり、社会教育関係の計画策定のため、社会教育の現状、課題、今後の施策の方向性等について意見を求めるものであると説明する。

議案第50号 加西市立図書館協議会委員の委嘱について

図書館長より、加西市立図書館協議会委員の委嘱について説明する。

加西市立図書館設置条例第5条の規定により、図書館協議会委員に委嘱したいので委員会の議決を求める。

任期は、平成27年9月1日から平成29年8月31日で、委嘱する者は、学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者、利用者代表の区分から10名である。

教育委員より、新任となる委員数について質問があり、図書館長より、学校教育関係者1名、社会教育関係者1名、家庭教育の向上に資する活動を行う者1名、学識経験者1名、利用者代表1名の5名が新任であると回答する。

教育委員より、図書館の取組について、地域で好評である。今後も着実に取り組んで貰いたいと要望がある。図書館長より、夏休みを利用して学校図書館の模様替えの要望があり対応している。また、手帳の配付と播州弁検定等を図書館で考えられないか検討している。図書館で購入した車を利用して、学校へ図書の貸し出しと引き取りを行っている。昨年の倍近い貸し出し実績となっていると説明する。

9. 議決事項

議案第49号 加西市社会教育委員会への諮問について

原案どおり可決

議案第50号 加西市立図書館協議会委員の委嘱について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育長の報告

この1月間の主な事項の6項目を報告する。

1. 教育振興基本計画策定会議（8/3開催）

初回のため委員長、副委員長の互選、第2期の基本計画の骨子説明、そして各委員からの自由な意見、思いが述べられた。委員長に兵庫教育大学准教授、副委員長に連合婦人会長、委員は、北条小学校長、善防中校長、宇仁幼児園長、保育所連盟長、社会教育委員長、加西教育の会会長、ふるさと創造部長、総務部長である。

2. 中学校スクールミーティング（8/5開催）

市内4中学校の生徒会の役員各3名の12名と市長、副市長、私とで2時間程度、主に中学生の視点で加西市について思うことなどを意見交換した。

3. 学校訪問

8/7、8/11、8/18、8/19で小中学校を訪問した。

現状報告、要望事項、ソフト面の充実、職員の状況について協議した。

4. 総務委員会 8/20

生徒数、教職員数の推移10年間、学校給食費の状況、いじめの状況、小中学校の適正規模適正配置に関する手引きの内容と統合を選択しない場合における小規模校のメリット最大化策、戦争体験集「轍」の活用について、資料提出と説明を実施している。特記すべき意見としては、いじめの察知能力向上、保育料のさらなる負担軽減要望を受けている。午後には、善防中、泉中の耐震補強大規模改修工事の現場視察が行われたが、特段の指摘事項は無かった。

5. 9月議会議案の概要

議案としては直接の提案は無いが、補正予算を提出している。

主なものは、子育てハンドブック作成2,500千円、認定多聞こども園整備補助85,335千円、制度変更に伴う、私立保育所等運営費交付金の増額等64,715千円、公立保育所修繕や園児増に伴う材料費、給食材料費等7,500千円、老朽化したオークタウン加西テニスコートの全面改修12,000千円である。

6. 全県教育長研修会 8/25、8/26

「教職員の人材育成について」、「インターネットと人権情報モラルの育成」、「小中一貫教育について」講演を拝聴し、情報交換も行っている。

(2) 教育次長の報告

平成27年度「教育施策の大綱」について報告する。重点目標については1から7までである。具体的な実践目標については、市長から、現場の子ども等の実情実態によって教育を推

進するようにとの指示があった。平成27年度の教育の推進については、市長部局と調整を図る。学校では、職員会議で、2学期以降の教育の推進について課題を共有し、本年度の教育施策の大綱に基づいた教育の推進を行う。

教育委員より、大綱について、新教育長就任以前と以後で変わった点があるのかとの質問があり、教育次長より、大きな違いは無いが、外国語活動の推進と、いじめ対策については、人権に重点をおいて内容の見直しを行っている」と回答する。

(3) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、教育施設耐震化工事等進捗状況について報告する。富田小学校南校舎地震改築工事は、木造校舎を解体しグラウンドと駐車場整備を行っている。宇仁小学校渡り廊下設置工事は、上屋の設置を行っている。西在田小学校地震改築工事は、基礎下のコンクリートを打設中である。九会小学校北校舎・賀茂小学校・下里小学校北校舎耐震補強工事は、補強工事と内装工事中であり、一部を夏休み中に完成し、9月より使用する計画で進めている。九会小学校は、9月より仮設校舎を使用して耐震化工事を進める。天井等非構造部材落下防止対策工事は、夏休みに工事を行い、小学校の体育館は9月より使用する予定である。また、中学校の武道場も加西中学校を除き9月より使用する。富田小学校太陽光発電設備設置工事は、太陽光パネルを新しい校舎の南面に設置している。

次に、平成26年度教育委員会点検評価報告書について報告する。点検評価の重点項目毎に評価委員の評価内容を読み上げ、全て「概ね妥当」であるとの報告を行った。また、総合コメントにおいて、評価委員の方から「学校や行政の動きが市民から見える取組が必要であることから、実践目標を定めるとき、到達すべき数値や状況を明確に示すことの検討。学校教育と社会教育の融合が図られた市民総掛かりでの教育が振興されることに期待する。」との意見をいただいた。

(4) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、学校評議員会の協議内容について報告する。各学校の評議員の方からの意見をまとめている。評議員の方には、学校運営、生徒指導、安全管理、家庭地域の連携等、多面的な視点からの的確な意見をいただいている。これらの意見をもとに、家庭・地域と共に連携し、学校教育の充実を目指して、改善できる箇所は、改善していきたいと考えている。年度内に再度、学校ごとに評議員会を開催し、学校の取組について、さらに評価いただく予定である。

次に、加西市中学校部活動ガイドライン（案）について報告する。市内の中学生の人数は平成22年度から平成27年度にかけて157名の減である。さらに今後5年間で約190

名の減少が見込まれる。このような状況から、従来の部活動の数を維持することは困難な状況になってきている。一方、スポーツ活動における個人のニーズが多様化し、地域においても様々なスポーツ活動が行われていることを背景にして、新たな部活動を設置して欲しいといった要望も聞かれる。そこで、加西市における部活動の現状を踏まえ、部活動のさらなる充実・活性化をめざして、「加西市中学校部活動ガイドライン」を策定しようとするものである。

昨年度までは、各中学校の部活動担当教諭、中学校体育連盟担当校長、兵庫教育大学准教授及び教育委員会学校教育課の職員の計8名で「部活動あり方検討委員会」を組織し、検討を重ねた。その中で、部活動を理由とする指定学校変更に関する重要な問題があり、今年度は「加西市中学校部活動ガイドライン策定委員会」として、上記の8名に、加西市連合PTA会長、各中学校PTA会長、小学校体育担当校長を加え、計14名で検討を行っている。

教育的意義を高める効果的な部活動のあり方と部活動の課題克服をめざした体制づくりをガイドラインの2つの柱として検討している。教育的意義を高める部活動の推進について、若い先生も増加しており、講習会や会議を開催することにより充実を図る。また、事故防止や安全確保、効率的で効果的な練習の実施、保護者や地域との連携を図る。課題克服をめざした体制について、複数校合同部活動方式、在籍校に希望する部活動の種目がない場合の大会参加、学校の実情を踏まえた弾力的な体制、部活動を理由とする指定学校変更について説明する。

部活動ガイドライン策定とともに、平成27年度中に外部指導者の配置を考えており、実施要項を定める予定である。中学校部活動ガイドラインに係るQ&Aも策定していると説明する。

続いて、加西市教育委員の委員活動校区について、各教育委員の方の行事等で活動いただく校区を報告する。

最後に、体育祭・秋季運動会について、今年度は、中学校は9月12日（土）9時より、小学校はすでに5月に開催している5小学校を除き、9月19日（土）9時より開催する旨を報告する。

教育委員より、中学校部活動ガイドラインについて、近隣では三木市が、複数校合同部活動方式に取り組みされているが、他の市町村の状況はどうかとの質問があり、学校教育課長より、複数校合同チームで大会に参加する活動は三木市で2校実施している。指定学校区の変更については、近隣では、高砂市、加古川市、加東市、今年度から播磨町が実施していると回答する。

教育委員より、加東市等、校区が広範囲に渡っている地域も区域外通学を実施しているのかとの質問があり、学校教育課長より、明石市が協議中であるが、公共交通機関を利用する条件を付するようである。加西市の場合は、公共交通機関が少ないため、保護者が送迎する、又は自転車通学の場合でも安全に通学できる範囲内を考慮する必要があると回答する。

教育委員より、ガイドラインの中でも、保護者、本人と十分検討することが明記されているので、安全面も十分に考慮していただきたいとの意見がある。

教育委員より、中学校部活動ガイドラインについて、よく検討され、まとめられていると思う。これまでは、部活動についてまとめてあるようなものはなかったのかとの質問があり、学校教育課長より、そのとおりであると回答する。

教育委員より、近年、少子化による部活動についての課題が発生し、ガイドラインを策定されるに至ったのかとの質問があり、学校教育課長より、そのとおりであると回答する。

教育委員より、ガイドラインのQ&Aもあり、理解しやすい。子ども達には、やる気を出して部活動に取り組んでほしい。また、部活動以外の活動にも好影響を及ぼしてくれたら良いとの意見がある。

教育委員より、次の3点について意見がある。

学校評議会の協議内容について、キャリア能力の育成を小学校から高校までのスパンでそれぞれの成長段階に合わせて図ってほしい。キャリア教育をどのように実践していくのかが重要である。市教育委員会としては、どのような教育をめざすのか、実態に即して実施する必要がある。

中学校部活動ガイドラインについて、実態に即して、保護者や生徒のニーズを考慮し、中長期的に大事なのか、短期的に大事なのかを考えながら検討していただいております、整理されつつある。

教職員の勤務体制について、新聞に「世界で教職員の勤務時間が一番長いのは日本である。」との記事が掲載されていた。部活動の問題は、各市町村だけでは、解決しない問題であるが、ここまでよく整理されていると思う。

教育委員より、教育委員の委員活動校区について、担当校区以外の行事に参加しなくてよい。という意味ではないと解釈しているがそれでよいかとの質問があり、学校教育課長より、教育委員の方の公民館活動等に制限をかけるものではない。委員活動校区を分けているのは、入学式、運動会、卒業式の場合のみである。同じ校区への重複出席を避けるために校区を分けていると回答する。

(5) 生涯学習課長の報告

生涯学習課主幹より、丸山ノ下1号墳発掘調査について報告する。調査期間は平成27年6月15日～8月31日（予定）、北条町西高室区画整理事業に係る発掘調査である。今回の調査で、古墳時代中期末（5世紀後半）の円墳跡1基が検出され、そこから装飾付筒型器台が出土した。県下で最古とみられる。10月頃に埋蔵文化財整理室で展示する予定である。

(6) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、教育相談受理状況について報告する。平成27年度7月までの総合教育センターにおける相談件数は、電話相談80件、面接相談271件、計351件である。昨年度7月と比較して、総数で40件の増である。電話相談については、小学生を対象に、身体・健康・発達障害の内容について、保護者・教師からの相談が多い。面接相談については、中学生を対象に、不登校について、教師・保護者からの相談が多い。全般的に、発達障害や不登校についての相談が多い。最近では、祖母からの相談が増加している。

教育委員より、相談件数が増加しているのは、相談窓口が総合教育センターにあるということが周知されているともいえる。相談があった後に、相談者からの報告や総合教育センターから問い合わせる等の追加調査はしているのかとの質問があり、総合教育センター長より、単発にならず継続して相談される方も多いと回答する。

教育長より、相談件数が増加した原因を分析したものはあるのかとの質問があり、総合教育センター長より、最近では、全国的に不登校が増えつつあり、学校現場における発達障害の対応の難しさも問題になっている。加西市においても、同様の傾向がある。一人一人複合的な困り感を持っている。それを第三者のカウンセラー等が、的確に話を聞いたり、対応することにより、解決に繋がる。職員には、適切に話を聞き、分析、指導し、関係機関と連携をとるように伝えている。外部との連携の点で、保護者と学校との調整をするようなこともあると回答する。

11. 協議事項

なし

12. 教育委員の提案

なし

13. 今後の予定について

- ・平成27年第9回定例教育委員会 9月29日(火) 13:30～ 市役所1階多目的ホール
- ・平成27年第10回定例教育委員会 10月26日(月) 13:00～ 市役所1階多目的ホール

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 27 年 8 月 27 日

出席者

(出席者署名)